



【新譜情報】

藤木大地「愛のよろこびは」

2018年10月24日発売

WPCS-13800 ¥3,000(税別)

藤木大地(カウンターテナー)

マーティン・カツツ(ピアノ)

収録曲

[01]アヴェ・ヴェルム・コルプス(モーツァルト)

[02]アヴェ・マリア(カッチーニ)

[03]愛のよろこびは(マルティニー)

映画『ハナレイ・ベイ』主題歌

〈愛の喜びは-Plaisir d'amour->Original Version

[04]献呈(シューマン)

[05]アヴェ・マリア(シューベルト)

[06]はすの花(シューマン)

[07]それは素晴らしい(リスト)

[08]原光「交響曲第2番『復活』」(マラー)

[09]リュートを弾くオルフェウス(ヴォーン・ウィリアムズ)

[10]静かな真昼「生命の家」(ヴォーン・ウィリアムズ)

[11]シンプル・ソング「ミサ」(バーンスタイン)

※フルート:上野星矢

[12]アヴェ・マリア(バッハ/グノー)

[13]クロリスヘ(アーン)

[14]ピエ・イエズ「レクイエム」(フォーレ)

[15]天使のパン(フランク)

※ボーイ・ソプラノ:込山直樹

[16]アメイジング・グレイス(讃美歌)

【公演情報】

メジャーデビュー記念

藤木大地

カウンターテナー・リサイタル

「愛のよろこびは」

会場:紀尾井ホール(東京)

開演:19:00

出演:藤木大地(カウンターテナー)

松本和将(ピアノ)

チケット 全席指定 ¥5,000 学生 ¥2,000

(前売りのみ限定50席)

主催・お問合せ:

AMATI(tel.03-3560-3010)

音楽のよろこびを歌い上げる、  
待望のメジャー・デビュー盤

声楽伴奏のカリスマを起用  
幅広いレパートリーで魅了

昨年4月、オペラの殿堂・ウィーン国立劇場に、現代ドイツの作曲家アリベルト・ライマンによるオペラ『メデア』のヘロルド役に鮮烈なデビューを飾り、「音楽の都の聴衆から熱狂的に迎えられた藤木大地。東洋人のカウンターテナーとして史上初の快挙」と日本でも話題を集めた彼が、名門ワーナー・ミュージックから待望のメジャー・デビューアルバムをリリース。数々の名歌手の伴奏を手掛けたことで知られるマーティン・カツツのピアノにのせて、ドイツ語からフランス語、英語と幅広いレパートリーで神々しい歌唱を披露している。

アルバムはモーツァルト作曲の〈アヴェ・ヴェルム・コルプス〉で幕開け。3大〈アヴェ・マリア〉にミサ曲や讃美歌といった祈りの歌を中心とした選曲の中に、シューマンやシューベルトなどロマン派のラヴ・ソングなども絶妙に散りばめられており「愛と祈り」が全体を貫くテーマとなっている。タイトル曲の〈愛のよろこびは〉は現在



「ハナレイ・ベイ」オリジナル・サウンドトラック  
WPCS-13801  
¥2,600(税別)

©hiromasa

公開中の村上春樹・原作の映画『ハナレイ・ベイ』の主題歌〈愛の喜びは - Plaisir d'amour - 〉のオリジナル・ヴァージョン。マルティニーの作曲によるこの楽曲はイタリア語で歌われることが多いが今回は、欧州で主流のフランス語による歌唱にこだわった(監督立ち合いのもとで録音した主題歌ヴァージョンも同様)。

意外なゲスト陣にも注目!  
12月18日には記念リサイタルも

カウンターテナーが歌うことは珍しい、マラーの交響曲第2番『復活』の第4楽章(原光)も見事だが、20世紀初頭の英国を代表するヴォーン・ウィリアムズ作曲の2つの歌曲(静かな真昼)とリュートを弾くオルフェウスも本アルバムのお宝のひとつであり、いつの日かヴォーン・ウィリアムズ作品集のレコーディング実現に向けて期待が膨らむ。また、今年生誕100周年を迎えたバーンスタイン作曲の〈シンプル・ソング〉では、人気フルート奏者の上野星矢との共演、フランクの〈天使のパン〉では2004年生まれ、兵庫県在住のボーイソプラノ込山直樹との共演など、ゲスト陣にも注目。ベルエポックのバリで花開いた作曲家アーン(クロリス)に、ラストを飾るアカペラによる〈アメイジング・グレイス〉(後半は日本語歌唱)なども味わい深い。

12月18日には紀尾井ホールでメジャー・デビュー記念リサイタルも開催。収録曲を中心に、現代日本の作曲家である木下牧子や加藤昌則の作品などアルバム未収録曲も盛り沢山とか。こちらもかなり楽しみだ。

【東端哲也】